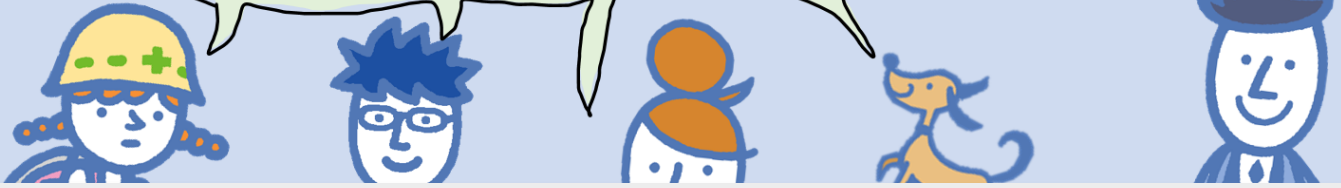


まちを調べて、まちを知る

こうぎ講座



暮らすまちの歴史、根付いている文化、
土地の風土、まちの人々に目を向けると。
今いる場所が、特別な場所になっていくかも。

令和6年3月3日(日)に開催しました講座の内容をご紹介します。
当日の資料と一緒にご覧ください。

ご参加いただけなかった方も、ぜひご自分のまちを調べて、知ってください。

時間	プログラム	
13:00	開会	
13:10	15分	わたしたちのまち名古屋
13:25	20分	まちづくりライブラリー レファレンスサービスのご紹介
13:45	1部	移動(10分) 貴重品をお持ちください。見学中、ホールは施設します。 階段での移動が便利です。エレベーターもご利用いただけます。
13:55		10分 A班 12階 まちづくりライブラリー B班 11階 まちづくり広場
14:05	移動(5分)	
14:10	10分 A班 11階 まちづくり広場 B班 12階 まちづくりライブラリー	
14:20	休憩(10分) ホールへお戻りいただいた後、休憩です。	
14:30	2部 45分	まちづくり まちの成り立ち 調べる 活かす
15:15	休憩(15分)	
15:30	3部 1時間	まちづくり情報システム(ISM)で知る 災害リスク
16:30	情報紹介コーナー	
16:45	閉会 / アンケートご記入	

名古屋都市計画史Ⅱ

(昭和45年~平成12年度)
杉山正大さんが、編集に携われた名古屋の都市計画の歴史に関する本。国の法制度等から説き起こし、名古屋市独自の「地区総合整備」や、「都市景観」の取り組みなども網羅しています。



まちづくりライブラリー、ホームページで
ご覧いただけます。販売もしています。

受講者プレゼント クリアファイル



← 歴まちくん

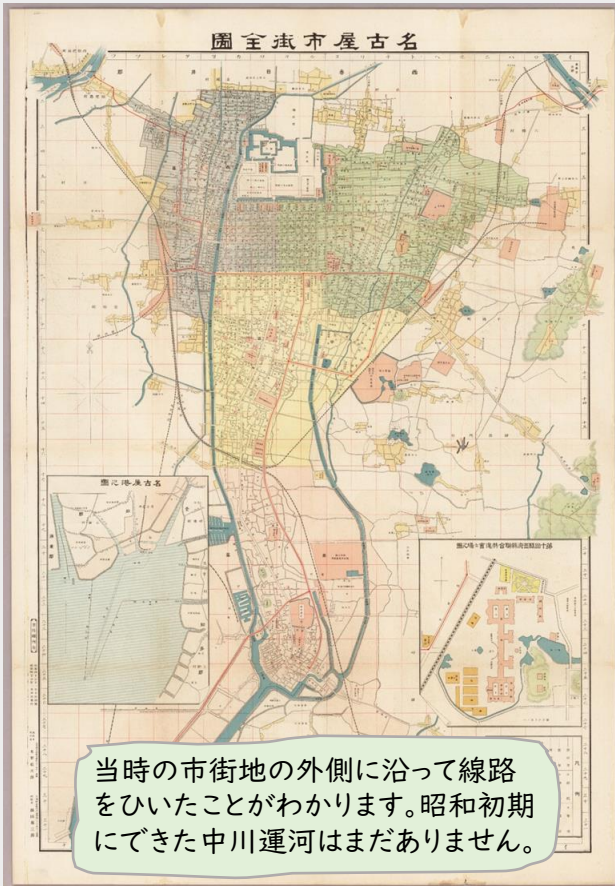
↑
吉田初三郎「名古屋市鳥瞰図」、
尾張名所図会

【わたしたちのまち名古屋】



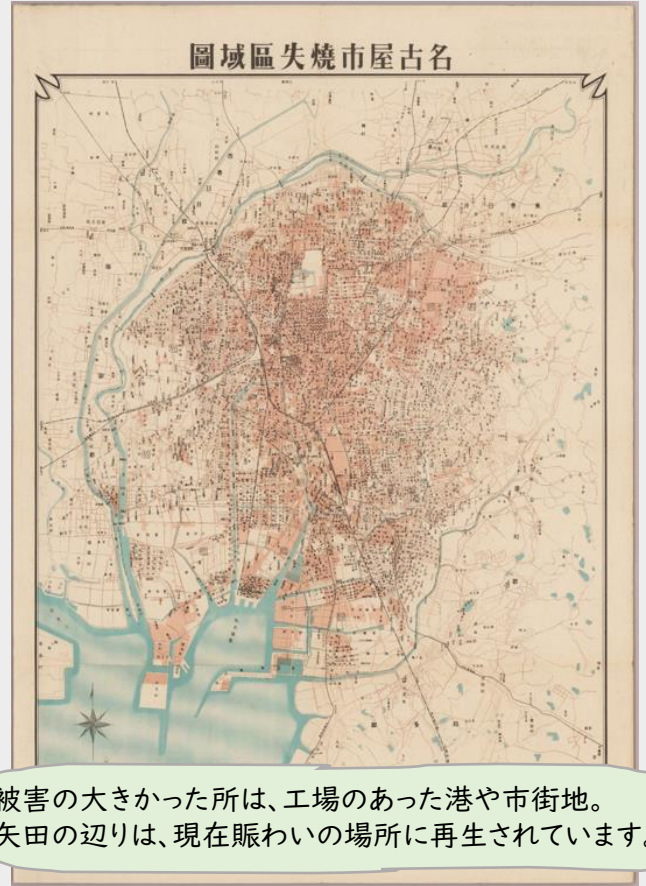
いろいろな角度から、名古屋のまちをご覧ください

『わたしたちのまち名古屋』(PDF)と合わせて、ご覧ください。
名古屋のまちの歴史がみえてきます。



当時の市街地の外側に沿って線路をひいたことがわかります。昭和初期にできた中川運河はまだありません。

名古屋市街全図 (M43)
(名古屋都市センター所蔵)



被害の大きかった所は、工場のあった港や市街地。矢田の辺りは、現在賑わいの場所に再生されています。

名古屋市焼失区域図 (出版年不明)
(名古屋都市センター所蔵)



まちづくり広場 常設展示コーナー



名古屋都心部の模型 (1/1000)
縮尺 (1/3800) の航空写真

【まちづくりライブラリー レファレンスサービスのご紹介】



司書

12階に、過去と未来のまちを知る「まちづくりライブラリー」があります。

ネット情報は正しい？ ぎよくせきこんこう 玉石混淆。図書だけではなく調べ方、レファレンスサービスをご紹介します。
価値のあるものとなないものが混じっている 調べもののお手伝い

『レファレンスサービスのご紹介』（PDF）と合わせて、ご覧ください。
調べ方を知っている人、司書より、調べ方のコツをお伝えします。

自分だけでは、思い込みや誤認、以前成功した方法だけに頼りがちになることも。
図書館を利用すればフラットな違う目線、アナログとデジタルのハイブリッドな情報源から探すことが可能です。

なにか調べ物をしていくとき、必ず答えがあると思って調べていきます。
しかし実際は、回答がない場合もあります。戦争で焼けてしまって入手不可能だったり、そもそも探しているものは存在しなかったり…

ピンポイントで探していくと、だんだん迷子になっていく場合があります。投網をフワ〜とかけるように、なるべく広く探して、ゆるっと絞っていく手法で探していくといいと思います。

ネット検索をしてしまいがちですが、そこには“レコメンド機能”という自分がキーワードで入れたものに寄ってしまうことがあり、偏りが出てしまいます。

司書に聞いたり、様々な情報ソース（書籍、雑誌、新聞、データベース、ネット、SNSなど）を組み合わせて最適解を目指していくのが良いです。

「リサーチ・ナビ」は、調べ物の調べ方。調べる前に役立つサイトです。



↑
ミニ資料展

↑
奥は、子ども向けコーナー

資料の検索はこちらから



まちづくりライブラリー

資料展 →
毎回テーマに沿った本や資料を展示



【まちづくり まちの成り立ち 調べる 活かす】

なにかひとつ、関心を持って調べていくとおもしろい!

おんこちしん
温故知新。調べるおもしろさ、みつけかたのコツをお話します。
昔の事を学び、新しい事を知る



杉山 正大さん

『まちづくり まちの成り立ち 調べる 活かす』(PDF) と合わせて、ご覧ください。

上の資料に示されているウェブサイトのURLは、日々に更新されることがあります。講義時点の内容から変更されたり、極端な場合にはサイト自体が削除されたりすることもありますのでご注意ください。

なぜ歴史を学ぶのか？ 歴史と言えば暗記物？

歴史とは、ただ単なる年表とか事実の羅列だけではなく、いろいろなことが背景にあるということがわかってきます。

将来を考える上で、過去のことを知っているとお助けになります。



温故知新(論語)

『故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知る』

古い事を調べていると、新しい事がわかってくることがあります。

ヴァイツゼッカー(ドイツの元大統領)

第2次世界大戦が終了した40年後、ナチスのしたことを忘れてはならないということが根底にあって、その上で、

『過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目になる』と演説しました。

E. H. カー(イギリスの歴史家) 有名な本「歴史とは何か」の著者。

『現在は過去の光に照らされて初めて十分に理解できるようになる』

まちづくりライブラリー
で貸出しています!

かなりの部分がインターネットに関連します。

使ったことがない方は思い切って使ってみると
便利なことが多いと思います。

もちろんそれ以外の調べ方もあります。

インターネット、パソコン、スマホが全てではない。アナログも大事です。



非常に大事なことは、現場、現場、現場!

インターネットで調べた→わかった。本を読んだ→わかった。と思いがちですが、必ずしもそうばかりと言えないことがあります。

その場所に行ってみることが非常に大事です。調べたことがこういうことだったのか、ちょっと違うんじゃないか、いや違うぞ、と思うこともあると思います。そういうことも大事にしなければいけないと思います。



【まちづくり情報システム (ISM) で知る災害リスク】



研究主査

まちの特徴を知って、自分のまちの防災につなげよう！
 「まちづくり情報システムISM(イズム)」の操作体験をしてみましょう。
 地理情報システム (GIS) を活用し、分散している都市計画や減災関連の地図情報を1つに集約したもの。2種類の地図を対比させたり、重ね合わせることで、わかりやすいシステムです。

『まちづくり情報システム (ISM) で知る災害リスク』 (PDF) と合わせて、ご覧ください。

情報システム
 Information System for Machizukuri

ISM を使ってみよう！



『matitek』 (マチテク) を使ってみよう！



今いる場所の「昔と今」を知り、そして「ちょっと防災」を意識することができる「まちを知る」アプリ



名古屋都市センターは、産官学民で構成される「減災まちづくり研究会」を設置し、南海トラフ地震などの巨大災害の発生を見据えて、広域及び地区レベル双方の視点から減災まちづくりに関する方向性や取り組みを提言しています。



- 地域力向上のための取り組み
- 広域・地区レベルでの推進の仕組み
- 減災まちづくり情報システム (ツール) の構築と活用

